

令和7年度2月補正予算(案)

# 主要事業の詳細

【経済分科会審査分抜粋】

## 目次

政策局	1
健康福祉局	3
健康福祉局・こども局	5
経済観光局	7
農水局	9
都市建設局	11

## 主要事業の詳細 [経済観光局]

# 1. LPガス価格高騰対策緊急支援事業

(補正額) 728,000千円  
(所管課) 経済政策課

○LPガス価格高騰の影響を受けた世帯、事業者に対する支援に要する経費  
(第5弾: 令和8年1月~3月分)

## 現状・課題

○これまでも重点支援地方交付金を活用して、LPガス価格高騰の影響を受けた世帯、事業者に対する支援を行っており、実施状況は以下のとおり。

【第1弾】 1契約あたり6千円(令和5年度6月補正)

【第2弾】 1契約あたり4千円(令和5年度11月補正)

【第3弾】 1契約あたり5千円(令和6年度2月補正)

【第4弾】 1契約あたり2千円(令和7年度6月補正)

○依然として、LPガス価格高騰の影響は続いているところ、国においても電気・都市ガスの利用料金への支援が継続されることから、県と連携し、LPガスを使用する世帯、事業者への支援を継続するもの。

## 事業概要

○事業費: 728,000千円

○事業内容

【第5弾】

エネルギー価格高騰の影響により経済的負担を受けている「LPガス利用世帯」及び「LPガス利用事業者」に対し、県LPガス協会を通じて、LPガス価格高騰相当額を給付する。

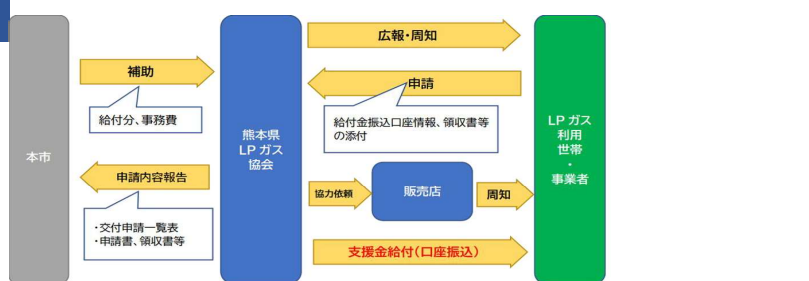
≪積算内訳≫

- (現金給付) ① 一般世帯: 一律3千円 × 17.5万契約 = 525,000千円  
 ② 事業者: 一律3千円 × 0.7万契約 = 21,000千円  
 ①+② = 546,000千円

(事務費) 182,000千円

実施主体	種別	R5				R6				R7				R8	
		1月-2月	3月-4月	5月-6月	7月-8月	9月-10月	11月-12月	1月-2月	3月-4月	5月-6月	7月-8月	9月-10月	11月-12月	1月-2月	3月-4月
国	電気 都市ガス	【1月~9月分】 電気、ガス価格高騰対策臨時交付金				【10月~4月分】 電気、ガス価格高騰対策臨時交付金				【8月~10月分】 経費削減交付金				【1月~3月分】 電気、ガス料金負担軽減交付金	
本市(県)	LPガス	【R5.6補正】(1月~9月分) LPガス価格高騰対策緊急支援事業				【R5.11補正】(10月~4月分) LPガス価格高騰対策緊急支援事業				【R7.2補正】(8月~10月、1月~3月) LPガス価格高騰対策緊急支援事業				【7月補正】 (7月~9月分) LPガス価格高騰対策緊急支援事業	
		第1弾				第2弾				第3弾				第4弾	
														第5弾	

## イメージ図



# 2. 動植物園整備運営支援基金経費

**新**  
(補正額) 108,672千円  
(所管課) 動植物園

○動植物園マスタープランに基づく整備及び運営等を目的に設置する基金への積立金

## 現状・課題

○熊本市動植物園マスタープランを策定し、動物の生息環境に応じた施設への改修等を実施している。

○今後もハードとソフトの両面からアニマルウェルフェア※基準に基づいた飼育及び施設管理、種の保存、環境教育などを推進していくためには、安定的に財源を確保していく必要がある。

※ 飼育及び展示における個々の動物の身体的および心理的状态に配慮する考え方。

## 事業概要

○事業費: 108,672千円

○事業内容

市民や企業から寄せられた寄附に込められた思いを、一過性に終わらせることなく、アニマルウェルフェア向上を見据えたハード・ソフト両面からの飼育及び施設管理、種の保存、環境教育等の取組を継続的に推進するため、基金を設置し、動植物園の整備・運営に計画的に活用する。

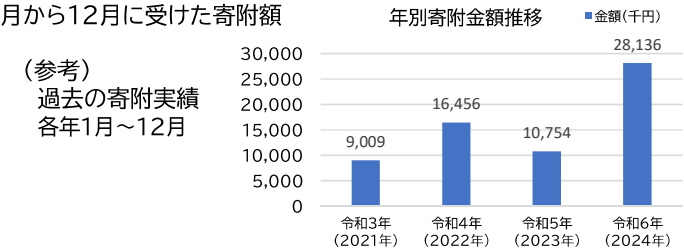
≪積算内訳≫

① 遺贈寄附金: 91,060千円

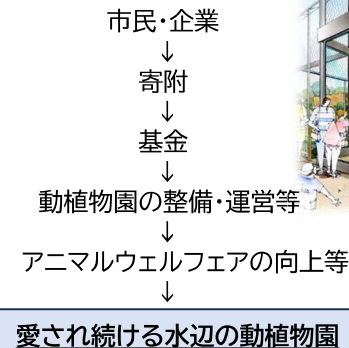
・令和7年3月に受けた遺贈寄附額

② 開園100周年記念サポーター寄附金: 17,612千円

・令和7年4月から12月に受けた寄附額



## イメージ図



## 主要事業の詳細 [農水局]

# 1. 畜産クラスター事業

(補正額)415,652千円  
(所管課)農業支援課

○畜産クラスター計画策定地域における施設整備等への支援に要する経費

## 現状・課題

- 畜産農家が減少している中、食料安全保障の確保の観点から、畜産における収益力や生産基盤の強化及び持続性、社会的価値の向上を図ることが必要。
- 飼養管理施設や家畜排せつ物処理施設の整備は、生産性向上やコスト削減による収益性、持続性の向上に有効だが、コストが高額であるため、農家のみでの整備が困難。

## 事業概要

○事業費:415,652千円

○事業内容

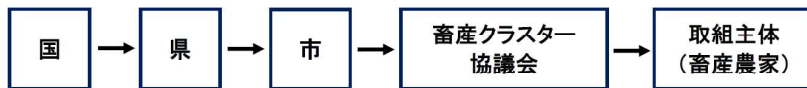
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)【415,652千円】  
畜産クラスター協議会が策定する畜産クラスター計画(※)に基づき、畜産農家が行う地域の畜産の収益性の向上等に資する施設整備や機械導入に要する経費を支援する。  
(※)地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための計画

[取組主体] 養豚農家(植木地区) 1件

[積算内訳] 家畜飼養管理施設(肥育豚舎 2棟)及び附帯施設(ラグーン、管理棟、コンポスト 他) 415,652千円

○補助の流れ

補助率: 畜産農家負担分の総事業費1/2以内



## イメージ図

### 畜産クラスター協議会のイメージ

